平成 25 年 4 月 14 日
四季の森里山研究会　宮下、中島、渡部、林

『四季の森公園の春を楽しむ』―雑木林に見る花たち

１．里山（雑木林）と里山の利用（昔と今）

里山とは、古くは主に農業を営む集落を取り囲んでいる、山、雑木林、竹林、ため池、小川、田畑、谷戸、用水路などを含み、人々との様々な関わりあいで維持されてきたまとまり。一昔前までは、薪炭、肥料、食料や餌などの資源として活用。では、桃太郎に出てくる「お爺さんは山に柴刈りに・・・」の柴は？

２．雑木林で見られる春の花

◆スミレの仲間　（文一総合出版スミレより）

・日本はスミレの仲間が多い国。約６０種類が分布。種、亜種、変種、品種まで入れると２２０種ぐらいあるという。

・スミレ属は Viola で、ビオラは「紫色の」の意味。

・スミレはスミレ全体をいう場合とスミレ本種をいう場合がある。本種の学名はマンジュリカ（満州産の）

・スミレの特徴（花が左右対称で両性花。唇弁の後ろに距（きょ）があり、距の中には蜜がある。雄しべの柱頭は棒状やカマキリの頭などいろいろ。花（開放花）後、閉鎖花をつくる。）

四季の森公園で見られるスミレの仲間

・タチツボスミレ（多い）、ニヨイスミレ（ツボスミレ）、マルバスミレ、アカネスミレ

タチツボスミレ（立坪菫）

・日本の代表的なスミレ。各地で見られる。地上茎は有り。花、距は薄紫色。葉は心形で縁に低い鋸歯がある。大きな株では地下茎が木質化、ひげ根を出す。托葉は櫛の歯状に切れ込む。

タチツボスミレ（四季の森公園）

◆ヤマザクラと櫻

日本の山に咲く代表的な桜。昔の花見は山桜。桜の中では寿命が長く、かなりの大木になる。白い花と同時に開く赤みの強い若葉が美しい。材質は固く家具や版木にする。ここでは**「櫻」の解字**を試みてみよう。

ヤマザクラ（四季の森公園）

３．植物は光を求めて

植物は「固着性」。したたかな生き方、「光合成」の働きを観察しよう。

■次回の自然観察会は、5 月 12 日（日）13 時からです。本日はご苦労様でした。